T2R2 東京工業大学リサーチリポジトリ
Tokyo Tech Research Repository

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題(和文)	専門分野別の漢字
Title(English)	
著者(和文)	仁科喜久子
Authors(English)	KIKUKO NISHINA
出典(和文)	新版日本語教育事典 大修館, Vol. , No. , pp. 399
Citation(English)	, Vol. , No. , pp. 399
発行日 / Pub. date	2005,

Powered by T2R2 (Tokyo Institute Research Repository)

の技』ソフトバンクパブリッシング.

［エリク・ロング］

■専門分野別の漢字

漢字学習において，留学生や職業人が特定の専門分野で運用できる漢字を効率的に習得することが考えられる。とくに非漢字圏学習者にとっては，限られた学習期間で，専門書を読む必要がある場合には，学習漢字の優先順を考慮する必要がある。日本語能力試験で示される4級から1級漢字の基準とは別に，目的や専門分野が特定される場合は，重要度，使用頻度などにより学習の優先順が異なるはずである。専門分野別学習漢字を考える場合，専門分野における専門語の漢字語彙との関連で，学習項目を考える必要がある。しかしながら，学習者が大学生であるか，大学院レベルの研究者であるかによっても専門の度合いが異なり，深い専門ほど特殊な用語を用いる頻度が高くなり，多くの学習者に一般化するのは難しくなる。

現在までに，漢字学習シラバスが専門分野別に提示されているものとして，工学，農学などの科学技術系と，経済学などの社会科学系のものが見られる。

●**理工系の漢字** —— Daub, E.（1991）は，専門分野が理工系である非漢字圏日本語学習者向けの最初のテキストである。本書は高校理科教科書の頻度分析により，重要漢字500字によるシラバスが提示されている。「一，二，三」などの漢数字は一般のものと共通するが，「分，数，合，面，定，図，体，線，上，対，式，点，理，的，質，子，表」などが使用頻度の上位にある。「数式，目的，面積，定理」など物理，化学，数学，生物の基礎語特有の語に含まれる漢字がある。また，「分，体，上，子」などの漢字は一般の学習漢字には見られない「分子，体積，線上」など科学特有の漢語の要素であることが特徴となっている。

●**社会科学系の漢字** —— 経済学などの社会科学系分野の語彙は新聞語彙調査との重なりが見られる。新聞語彙の頻度調査における最上位漢字は「日，一，十，二，人，三，会，国，年，中，本，東，五，時，四，出，上，円，同」であり，社会科学系ではいずれも頻度が上位で重なっている。

一方，日本語能力試験出題基準において3，4級で優先的に提示される漢字は，年月や曜日，時間を表す漢字，東西南北や左右前後の方位を表す漢字，父母兄弟など親族関係を表す漢字，山川などの自然や衣食住交通に関する生活漢字などが中心である。

➡ 目的別の文字教育（5-E），漢字・漢字語の使用頻度（5-C）

●**参考文献**

村岡貴子・柳智博（1995）「農学系学術雑誌の語彙調査」『日本語教育』85.

今村和弘・三枝令子（1994）「経済学における専門基礎文献の語彙・表現調査」『日本語教育学会大会予稿集』.

岡田泰男他（1996）「はじめての経済学」『慶應通信』.

Daub, E. 他（1991）『科学技術日本語入門』東京大学出版会.

国立国語研究所(編)（1976）『現代新聞の漢字』〈国立国語研究所報告56〉秀英出版.

国際交流基金（1994）『日本語能力試験出題基準』凡人社.

寺朱実他（1996）「日本語読解支援システムDICTLINKER」『日本語教育学会秋季大会予稿集』.

［仁科喜久子］

■漢字文化圏

「漢字文化圏」として普通挙げられるのは，中国（香港含む）・台湾・ベトナム・朝鮮半島・日本と，これらの地域の言語を話す人々が